



懐かしくて新しい
和太鼓アンサンブル、
東京打撃団。
圧倒的な音圧と、
繊細な演奏で楽しく
舞台を駆けめぐる！



TOKYO DAGEKI DAN

東京打撃団は、プロデューサー平沼仁二(鬼太鼓座)鼓童(在籍)を代表として1995年に結成された和太鼓音楽集団。形式や慣習にとられない新しい時代の感性によって「太鼓」の持つ可能性を追求し、太鼓アンサンブルの魅力あふれるステージを展開している。

演奏活動として、国立劇場の「日本の太鼓」公演を始め、各太鼓フェスティバル、全国公立文化施設の主催事業、高等学校芸術鑑賞会、文化庁の小・中学校巡回事業、イベントへの出演のほか、東宝映画「のぼうの城」等への映画出演、舞台の劇中音楽への参加、「EXILE」全国ツアーでの太鼓演奏参加のほか、「ザ・コンボイ・ショウ」「バグズ・アンダーグループ(ダンス)」「劇団EXILE」「ミュージカル刀剣乱舞」「ライブベクターナルト」等の舞台への太鼓指導&楽曲提供をするなど、活動の場を拡げている。

海外では、1998年のフランス・アフリカツアー(国際交流基金主催)、「FIFAワールドカップ・フランス大会閉会式」での次期開催国代表としての演奏披露、2000年イギリスを中心としたヨーロッパツアー(ベルギー/フィンランド)及びハノーバー/ドミニカ共和国)、2007年東南アジア・ツアー(タイ/マレーシア/ブルネイ)、2010年土海万博日本館ステージでの演奏、2014年マキシコ・ツアー(中南米最大の国際芸術祭「セリバンティノ芸術祭」ほか)を行なっている。国内外で活躍の場を拡げ、2015年に結成20周年記念公演を世田谷パブリックシアターで開催した。

・高い演奏技術に裏打ちされた音楽感覚と視覚に訴える総合的な構成演出、「太鼓」の新たな魅力を発見出来る舞台芸術を目指している。